

主婦の"プロ" 理想を実現



玄関横のサロンスペース(左)は外の空間と一緒になり、友人が集うなど自由に活用できる(近江八幡市丸の内町)



共有の庭を囲むように家が並ぶ「ガーデンブロック」。右端がモデルハウス

家

家庭を持ちながら街づくりや収納などの専門家として活躍する女性のネットワーク「主婦プロ」の理想を実現させたモデルハウスが、近江八幡市の分譲住宅地・丸の内町に完成した。共同庭園に開かれた「サロン」や動線に配慮したキッチンなど、家族がくつろぐだけでなく、地域の人つながる空間を提案する。

近江八幡にモデルハウス

街づくりや収納専門家の女性ネット

丸の内町はJR篠原駅の北西約2キロにある。村田興産(京都市南区)が1975年から分譲を開始し、現在約520戸が建つ。モデルハウスは木造2階建てで、同社が主婦の本音を取り入れた住まいづくりをしようとした。「主婦プロ」のメンバーは街

づくりコーディネーターの高雄良子さん(42)、大阪府摄津市をはじめ、整理収納アドバイザー宮田公美乃さん(41)、京都市北区やインテリア、照明、心理、造園の専門家計6人。

「おうちサロン」と名付けた部屋を玄関脇に設けた。ガラス戸を開ければ、段差なく外と一体化する。アトリエやカフェなど、家族はもちろん、ご近所さんとも多目的に使用できる。はしごで2階ロフトに上がる「秘密基地」のような仕掛けも取り入れた。

玄関脇のサロンやキッチンの窓 人のつながりや季節感を重視



「眺めがいいキッチンにしたかったという高雄良子さん。キッチンワゴン(右)を動かせば広さも変わられる

キッチンは、近年主流のカウンター式(対面式)に対し、あえて壁付け式を採用した。テーブルへの動線がスマーズで、面積が広く使える点などを評価。窓を

玄関脇は土間のように広めにし、リビングにはパソコンをすっぽり収納できる棚を設置。玄関とリビングの間には磨りガラスをはめてプライバシーの確保と採光を両立させた。

高雄さんは「主婦の力を結集した視点になり感動している」と話

50。
1-0120(0748)

(日下貴政)

モデルハウスは、共同庭園となる1区画を、5戸が囲むように配置した街区「ガーデンブロック」にある。4年前に町内から転居し、家族4人で暮らす柿田佳代さん(41)は庭に面した